

定期監査結果報告書

第1 監査の概要

1 監査の実施期間

平成29年11月7日から平成29年12月14日まで

2 監査の対象等

監査対象	所管部署
住吉小学校	学校教育課
自彊小学校	同上
吉田中学校	同上
中央小学校	同上

3 監査の事項及び範囲

平成29年4月1日から平成29年9月30日までに執行された事務事業とした。なお、前回以前監査時の指摘事項等の措置状況を含む。

4 実施した監査手続き

監査にあたっては、法令に基づき、財務に関する事務が適正かつ効率的に、経営に係る事業の管理が、合理的かつ効率的に行われているかどうかの主眼をおき、あらかじめ指定した監査資料、提示のあった関係書類及び関係帳簿を審査するとともに校長及び関係職員から説明を聴取するほか、質問その他必要と認めた監査を実施した。

第2 監査の結果等

各校についての監査の結果等は、後述のとおりである。

なお、一部の事項については、それぞれ口頭で注意、指導を行った。

(注)○ 文中のうち、千円単位で表示されているものは、単位未満は四捨五入とした。したがって、合計額が一致しない場合がある。

○ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までとした。

○ 歳入における、収入率の算式は収入額/調定額である。

○ 歳出における、執行率の算式は支払額/予算現額である。

1 住吉小学校

(1) 事務事業の概要】

ア 平成29年度 学校経営について

(ア) グランドデザイン

「学校経営構想：その年度の学校における教育が目指す姿を端的に示したもの」で別紙1のとおりである。

(イ) 学校教育目標と重点目標

a 学校教育目標 豊かな心 学ぶ力

b 重点目標 やりぬく子(仲間意識)

c 経営目標 信頼にこたえる学校

イ 学校安全指導

(ア) 安全指導

(イ) 安全管理

(ウ) 非常災害計画

ウ 地域との連携

エ 学校保健統計

オ 職員数は49人(うち、育休1人)である。

カ 学級数・児童数は次のとおりである。

学年	学級数	児童数		
		男	女	合計
1	3	48	40	88
2	3	34	41	75
3	3	44	37	81
4	3	50	35	85
5	3	54	44	98
6	3	37	46	83
特別支援	2	8	6	14
合計	20	275	249	524

キ 予算執行状況(歳出)については、次のとおりである。

小学校費・支払額は9,224千円で執行率は33.2%である。

(ア) 住吉小学校維持管理費

支払額は9,218千円で執行率は33.3%である。

主なものは臨時職員賃金620千円、特定消耗品費1,108千円、教育材料費425千円、修繕料1,174千円、電気使用料1,065千円、水道使用料497千円、パソコン等保守点検手数料619千円、その他役務費730千円、警備保障業務委託料他393千円、パソコン借上料他2,105千円、備品購入費128千円である。

(イ) 住吉小学校特別支援学級費

支払額は7千円で執行率は8.9%である。

ク 「吉田町立小・中学校備品取扱いの手引」に則って、備品管理が行われているかについて新規購入備品の実査を行った。

ケ 「学校私費会計取扱要領」に則って、会計業務が執行されているかについて実査を行った。

(2) 監査結果

監査の結果、財務に関する事務についておおむね適正に、経営に係る事業の管理についても、おおむね合理的に行われている。

2 自彊小学校

(1) 事業の概要】

ア 平成 29 年度 学校経営について

(ア) グランドデザイン

「学校経営構想：その年度の学校における教育が目指す姿を端的に示した
もの」で別紙 2 のとおりである。

(イ) 学校教育目標と重点目標

a 学校教育目標 自らつとめ はげむ子

b 重点目標 気づき 考え 行動する子

c 学校経営目標

(a) 学びのおもしろさを味わい、学びがいを感じる魅力ある授業づくり
を推進する。

(b) 一人一人の成長への願いをもち、子どもに寄り添い、自尊感情や思
いやる心を育む。

(c) 子どもの発想から出発し、子どもが主体となって教師と共に活気あ
る学校をつくる。

(d) 創意と挑戦の精神のもと、教職員一人一人が持ち味を発揮し、組織
的な教育を展開する。

(e) 家庭や地域・社会との連携を図り、相互の理解を深めて、「おらが
学校」としての信頼に応える。

(ウ) 学校経営の重点

a 学びのおもしろさや、学びがいを実感させる魅力ある授業づくりを推
進する。(自己や他者を幸せにする力=「生きる」を育む)

b 自分で考え、的確に判断し、最後までやり抜く子どもを育てる。

c 自分を信頼し、他者への優しさを広げる思いやる心を育てる。

d たくましさを育てる。

e 地域とともにある学校づくりを推進する。

イ 防災安全管理状況

校内安全体制（防災計画）

(ア) 防災組織

(イ) 災害時による緊急時の対応

(ウ) 防災学習計画

(エ) 事故対応

ウ 学校保健統計

エ 地域との協力状況

オ 職員数は 39 人（うち、育休 1 人、産休 1 人）である。

カ 学級数・児童数は次のとおりである。

学年	学級数	児童数
----	-----	-----

		男	女	合計
1	3	39	41	80
2	3	39	34	73
3	2	23	42	65
4	3	45	33	78
5	2	33	32	65
6	2	34	26	60
特別支援	2	8	4	12
合計	17	221	212	433

キ 予算執行状況（歳入）については、次のとおりである。

(ア) 雑入・電話使用料

収入額は4千円で執行率は100.0%である。

ク 予算執行状況（歳出）については、次のとおりである。

小学校費・支払額は9,326千円で執行率は38.7%である。

(ア) 自彊小学校維持管理費

支払額は9,291千円で執行率は38.7%である。

主なものは臨時職員賃金600千円、特定消耗品費1,257千円、教育材料費717千円、修繕料490千円、電気使用料866千円、水道使用料336千円、パソコン等保守点検手数料619千円、その他役務費1,645千円、警備保障業務委託料等345千円、パソコン借上料他1,755千円、備品購入費292千円である。

(イ) 自彊小学校特別支援学級費

支払額は35千円で執行率は40.8%である。

ケ 通級指導教室（発達障害）について

通常の学級に在籍する、比較的軽度の障害がある児童に対して、障害の状況に応じて特別な指導を行うための教室である。

教科の学習は通常の学級で行う。

児童数は17人(3小学校計)、担当教員は1人である。

コ 「吉田町立小・中学校備品取扱いの手引」に則って、備品管理が行われているかについて新規購入備品の実査を行った。

サ 「学校私費会計取扱要領」に則って、会計業務が執行されているかについて実査を行った。

(2) 監査結果

監査の結果、財務に関する事務についておおむね適正に、経営に係る事業の管理についてもおおむね合理的に行われている。

3 吉田中学校

(1) 事業の概要

ア 平成 29 年度 学校経営について

(ア) グランドデザイン

「学校経営構想：その年度の学校における教育が目指す姿を端的に示したもので別紙 3 のとおりである。

(イ) 学校教育目標と重点目標

a 学校教育目標 「活力あふれる吉中生」

b 重点目標 「自ら学び 共に未来へ」

c 学校経営目標

(a) 生徒が学ぶ喜び、できた達成感を実感する授業づくりを推進する。

(b) 自分で考え、的確に判断し、最後までやり抜く生徒を育成する。

(c) 生徒に付けたい力を意識した組織的な分掌運営を推進する。

(ウ) 学校経営の重点

a 授業で学ぶ喜び・達成感を実感する生徒の育成

b 自分で考え、最後までやり抜く生徒の育成

c 「優しさと思いやり」のある生徒の育成

d 「自己肯定感」を育む生徒の育成

e 教職員がゆとりをもち、生徒と向き合える職場の創造

イ 学校安全指導について

(ア) 学校安全指導

(イ) 交通安全指導

(ウ) 防災対策

a 防災組織

b 災害時による緊急時の対応

c 防災学習計画

d 事故対応

ウ 地域との連携状況

(ア) 地域との連携状況

(イ) 吉田中学校健全育成会

エ 学校保健統計

オ 職員数は 79 人である。

カ 学級数・生徒数は次のとおりである。

学年	学級数	生徒数		
		男	女	合計
1	8	146	118	264
2	8	144	135	279
3	9	151	138	289
特別支援	3	13	4	17

合計	28	454	395	849
----	----	-----	-----	-----

キ 予算執行状況（歳出）については、次のとおりである。

中学校費・支払額は14,708千円で執行率は33.0%である。

(ア) 吉田中学校維持管理費

支払額は14,697千円で執行率は33.1%である。

主なものは臨時職員賃金1,238千円、特定消耗品費2,200千円、教育材料費1,111千円、修繕料1,115千円、電気使用料2,241千円、上下水道使用料608千円、医薬材料費751千円、冷暖房装置保守点検手数料648千円、パソコン等保守点検手数料688千円、その他役務費670千円、警備保障業務委託料等524千円、自動車借上料719千円、複写機借上料513千円、教育用パソコン借上料1,291千円である。

(イ) 吉田中学校特別支援学級費

支払額は11千円で執行率は7.5%である。

ク 通級指導教室（発達障害）について

通常の学級に在籍する、比較的軽度の障害がある生徒に対して、障害の状況に応じて特別な指導を行うための教室である。

教科の学習は通常の学級で行う。

生徒数は21人、担当教員は1人である。

ケ 「吉田町立小・中学校備品取扱いの手引」に則って、備品管理が行われているかについて新規購入備品の実査を行った。

コ 「学校私費会計取扱要領」に則って、会計業務が執行されているかについて実査を行った。

(2) 監査結果

監査の結果、財務に関する事務についておおむね適正に、経営に係る事業の管理についてもおおむね合理的に行われている。

4 中央小学校

(1) 事務事業の概要

ア 平成29年度 学校経営について

(ア) 学校教育目標と重点目標

a 学校教育目標 「たくましい子」

b 重点目標 「自ら動く」

c 学校経営目標

(a) 子どもが「学びの根」「心の根」「命の根」を培いながら、学ぶ楽しさと自己の成長を実感する学校を創る

(b) 「信頼の土」を醸成し、保護者、地域から信頼され、教職員がやりがいと誇りを持って勤務する学校を創る

(イ) 学校経営の重点

a 子どもが「学びの根」「心の根」「命の根」を培いながら、学ぶ楽しさ

と自己の成長を実感する学校を創る

b 「信頼の土」を醸成し、保護者や地域から信頼され、教職員がやりがいと誇りを持って勤務する学校を創る

(ウ) グランドデザイン

「学校経営構想：その年度の学校における教育が目指す姿を端的に示したもの」で別紙4のとおりである。

イ 安全教育

(ア) 全体計画

(イ) 平成29年度学校安全教育計画

(ウ) 校内安全点検について

ウ 地域社会との連携

エ 学校保健統計

オ 職員数は55人(うち、育休3人)である。

カ 学級数・児童数は次のとおりである。

学年	学級数	児童数		
		男	女	合計
1	3	50	50	100
2	4	61	66	127
3	4	64	45	109
4	4	57	62	119
5	5	86	65	151
6	4	53	55	108
特別支援	2	10	2	12
合計	26	381	345	726

キ 予算執行状況(歳出)については、次のとおりである。

小学校費・支払額は11,161千円で執行率は36.3%である。

(ア) 中央小学校維持管理費

支払額は11,112千円で執行率は36.3%である。

主なものは臨時職員賃金913千円、特定消耗品費1,673千円、教育材料費467千円、修繕料1,405千円、電気使用料1,415千円、水道使用料657千円、医薬材料費259千円、通信運搬費203千円、パソコン等保守点検手数料619千円、その他役務費546千円、警備保障業務委託料等374千円、パソコン借上料他2,115千円、備品購入費493千円である。

(イ) 中央小学特別支援学級費

支払額は49千円で執行率は36.7%である。

ク 「吉田町立小・中学校備品取扱いの手引」に則って、備品管理が行われている。

るかについて新規購入備品の実査を行った。

ケ 「学校私費会計取扱要領」に則って、会計業務が執行されているかについて実査を行った。

(2) 監査結果

監査の結果、財務に関する事務についておおむね適正に、経営に係る事業の管理についてもおおむね合理的に行われている。

5 平成 27 年度監査時における監査意見（総括）「私費会計」に関する各小・中学校からの処理状況報告書について

今回の監査において「教育委員会事務局（学校教育課）からの指示を受け、事務処理方法の点検を行うとともに、通帳の保有状況や事務処理上の相違点について整理した。

これらを踏まえ策定された。「学校私費会計取扱要領」に基づき、適正に私費会計事務を行っている」と報告されている。

なお、今回監査資料として「学校私費会計取扱要領」・（平成 29 年 3 月制定）は学校教育課から提出されている。



平成29年度 吉田町立自彊小学校 グランドデザイン



【国・県・町の施策】

- 国 (学習指導要領)
社会に開かれた教育課程
カリキュラム・マネジメント
- 県 (教育振興基本計画)
「有徳の人」の育成
- 町 (吉田町教育大綱)
ラーニングプラン
TCP Trivins プラン など

学校教育目標 **自らつとめ はげむ子**
重点目標 **気づき 考え 行動する子**
【1年次】

【歴史と伝統】

伝統… 明治43年開校107年目
地域住民が願望と期待を込めてつけた校名「自強」(中国易経、戊申詔書「自強不息」より)
校訓… 自強「自らつとめ はげむ子」
自分の目標をもち、その実現のために自らの英知を傾けて考え、正しく判断して実践し、粘り強くやり遂げる。

保護者との連携

- ・子どもを育てるために、手を取り合い理解していただく。
- ・PTA活動の充実
- ・運動会、里人こぞる等への協力
- ・参観会、懇談会への参加
- ・学校評価アンケートの活用

学校経営理念

◎ 「未来へ続く温かな学びの場」の創造をめざして

学校経営目標

- 学びのおもしろさを味わい、学びがいをを感じる魅力ある授業づくりを推進する。
- 一人一人の成長への願いをもち、子どもに寄り添い、自尊感情や思いやる心を育む。
- 子どもの発想から出発し、子どもが主体となって教師と共に活気ある学校をつくる。
- 創意と挑戦の精神のもと、教職員一人一人が持ち味を発揮し、組織的な教育を展開する。
- 家庭や地域・社会との連携を図り、相互の理解を深めて、「おらが学校」としての信頼こたえる。

地域との連携

- ・学校評議員会、「自強つ子を語る会」などで、地域や保護者からの意見を受け止める。
- ・学校田活動を中心に、里人がこぞる場とする。
- ・地域ボランティアの協力
- ・地域行事への積極的な参加

《目指す教師像》

- 学び続ける教師
- 厳しさや温かさを持ち、子どもにかかわりきる教師
- 子どものよさをとらえ、伸ばすことのできる教師
- 協働を大切にし、信頼を高める教師
- 組織に自分を合わせる教師
- 明るく元気で、自分を大切にできる教師

子どもと向き合う時間を大切にすると多忙化解消に向けた業務改善と意識改革

H29 学校経営数値目標 (H28 児童・保護者アンケート結果より→H29 目標値)

- ・学校が楽しい(91%→92%) ・授業の内容がよく分かる(89%→90%)
- ・進んで学習や運動などに取り組んでいる(84%→85%)
- ・自分にはよいところがある(84%→86%)
- ・約束やルールをしっかりと守って生活している(91%→92%)
- ・信頼できる先生がいる(91%→92%) ・(保)学校は相副にしている(91%→92%)

《H29につけたい力》

- ◎ 自ら学ぶ、取り組む、挑戦する
- ◎ 今必要なことに気づく、判断する
- ◎ 人を思いやり、仲間と高め合う

《目指す子ども像》

- 自ら進んで学ぶ子ども
 - めあてをもち、めあてに向かって地道に努力を続けられる子ども
 - 当たり前が当たり前で、強がり強いでできる子ども
 - 心豊かで、人のために助ける子ども
- 《保護者の期待する子どもの姿》
- ・ 思いやりのある子 (207名)
 - ・ めあてをもって粘り強く取り組む子 (120名)
 - ・ 友達と仲よく過ごす子 (101名)
 - ・ たくましくと体をもちた子 (96名)
 - ・ 決まりやルールを守る子 (89名)

「1.決意・仲間づくり」 のステージ(4/6~6/25)	「2.挑戦」 のステージ(6/26~10/1)	「3.追究」 のステージ(10/2~1/4)	「4.感謝」 のステージ(1/5~3/16)
---------------------------------	----------------------------	---------------------------	---------------------------

学校経営の重点	魅力ある授業づくり	最後までやり抜く子の育成	思いやる心を育てる	たくましさを育てる	地域とともにある学校づくり
---------	-----------	--------------	-----------	-----------	---------------

重点項目	【心づくり部】 ◎ 自分と友達とのよさに気づき、自分に自信がもてる ◎ 立ち止まって考え、その場に相応しい行動ができる ◇ 規範意識の醸成 ◇ 自己肯定感・自己有用感の育成 ◇ 家庭・地域との連携 ・ 「すてきな自強つ子」の徹底 ・ 学習ルールの徹底 ・ 凡時徹底『時を守り 場を清め 礼を正す』 ・ ユニバーサルデザイン化	【学びづくり部】 ◎ 「わかる!」「できる!」を実感し、学ぶ楽しさを味わう ◇ 学習態度の向上 ◇ 思考力・判断力・表現力の向上 ◇ 活用力・応用力の定着 ・ 学級をもとにした DCAIP サイクルの徹底 ・ 町全体研における子どもの姿で本研修の主張 ・ 個に応じた指導の充実	【体づくり部】 ◎ 様々なことに目を向け、自分の考えをもち、自ら進んで活動する ◎ 仲間と協力して、よりよい集団を創ろうとする ◇ 各行事、委員会活動、学級活動等における主体性、協調性の伸長 ◇ 体力づくり(柔軟性・投力) ・ 子どもの手で割り上げ、やり遂げる行事 ・ 集団づくりを通した個の伸長 ・ 行事の質的な向上と精選 ・ 挨拶運動の推進(挨拶を学校の誇りに)
	  		

《授業を核とした学校運営と魅力ある授業づくりの推進》
【校内研修】
「できる!わかる!」子どもの姿を目指して
～教科でつなぐ力と手立ても明確にした授業実践～

【平成28年度の児童の実態】 ○明るく素直な子どもが多い ○基礎学力が定着してきている ○掃除や係活動など、自分に任されたことを責任もって行おうとしている △自分の考えで判断し、行動することを期待している △その場で自然にできる挨拶を期待している

平成29年度 吉田中学校グランドデザイン

静岡県教育振興基本計画
「有徳の人」
づくりのアクションプラン

- 1 自らの資質・能力を伸ばし、個人として自立した人
- 2 多様な価値観を認め、人との関わり合いを大切に人
- 3 社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人

学校教育目標

活力あふれる吉中生

重点目標
「自ら学び 共に未来へ」

＜2年次＞

吉田町の教育目標
生涯にわたり
学びあい高めあう人づくり

- 1 主体的に学び、社会を生き抜いていける幅広い知識と教養の習得を推進します。
- 2 思いやりをもち、あたたかい心のかような人々が相互に助け合い喜びをもって学びあう環境をつくりまします。
- 3 目標に向かって挑戦し続ける心と体を鍛え、町ぐるみで健康の増進を推進します。
- 4 郷土に築かれた歴史・伝統や文化を継承するとともに、町民の文化活動を振興します。

本校の教育課題

- 「学力向上」に対する意識を高める
- 「確かな学力」の育成する
- 「思いやりの心」を育てる
- 「自立と耐性力」を育てる

学校経営目標

- 1 生徒が学ぶ喜び、できた達成感を実感する授業づくりの推進
- 2 自分で考え、的確に判断し、最後までやり抜く生徒の育成
- 3 生徒に付けた力を意識した組織的な分掌運営の推進

教員目標 ※ 7. 11の学校評価アンケートにより検証

① 学校が楽しい	91%	② 授業がわかる	87%
③ 悩み等を相談できる先生がいる (生徒70% 保護者70%)		④ 教師はやりがいをもって業務に取り組んでいる	75%
⑤ 保護者が学校の教育活動に関心をもっている	75%		

本校生徒の実態

- 学校が好きで明るく元気な生徒が多い
- 元気で明るい挨拶を自慢にしている
- 合唱を自慢にしている
- まじめに授業に取り組める
- 学力向上に対する意識が弱い
- 自ら求めて解決する意識が弱い
- 最後まで粘り強く取り組む姿が弱い



吉中自慢 (地域防災)

信頼にこたえる学校

＜目指す教師像＞

- ・ 後ろ姿で導く
- ・ 情熱を傾けられる
- ・ 厳しさと温かさで生徒に関わりきる
- ・ 生徒、保護者、地域の信頼に応える

＜目指す生徒像＞

- ・ 自ら進んで学ぶ
- ・ 自分に厳しく、自ら鍛える
- ・ 心豊かで他人の気持ちがわかる
- ・ 人のために動ける

＜目指す学校像＞

活力に満ち、「勢い」のある学校



吉中自慢 (挨拶)



吉中自慢 (合唱)

校内研修テーマ **教科の魅力や本質に迫り、生徒が学びを実感する授業の工夫**
～ 吉中授業スタイルの深化～



学校経営の重点1～5

1 授業で学ぶ喜び・達成感を実感させる

- 校内研修を基盤に「学ぶ喜び」「できた達成感」を実感させる授業づくり
- 生徒が間違いや失敗を恐れることなく、自らチャレンジする能動的な授業づくり
- 教科の魅力を生徒に伝える授業づくり

2 自分で考え、最後までやり抜かせる

- 人に言われて動くのではなく、自ら進んで行動に起こす生徒を目指す
- 途中で諦めることなく、最後までやり抜く生徒を目指す
- 個々の生徒に達成感をもたせながら個々を強くする

【学校と地域の連携】

- 1 吉中健全育成会にて地域と連携(6,11月) (しずおか型コミュニティスクール)
- 2 民生委員・児童委員と語る会(6,11月)
- 3 地域防災訓練に主体的に参加(8,12,3月)
- 4 2年生の職業体験と夏休みの福祉体験(ボランティア活動への参加)
- 5 学校・学年・学級だより、HP等により、教育活動を保護者や地域に広く発信

3 「楽しさと思いやり」を育てる

- 授業や特別活動、学校生活全般を通して思いやりのある言動を増やす
- 「ありがとう」の言葉が自然と言い合える学校生活を目指す
- 「施す喜び」が実感できる体験を増やす

4 「自己肯定感」を育てる

- 夢実現シート(吉中未来プロジェクト)を通して生徒一人一人の努力の足跡を認め励ます
- 生徒一人一人と寄り添い「誉める」「認める」等ポジティブフォーカスによる指導をする
- 吉中生の自慢「あいさつ」「合唱」「地域とのつながり」を磨く

5 ゆとりをもち生徒と向き合う 職場の創造

- 会議の精選と工夫ある教育課程編成で放課後のゆとりを生み出す
- 教職員自身が主体的にタイムマネジメントとタスクマネジメントを行う

平成29年度 吉田町立中央小学校グランドデザイン

校訓：誠 明 健

教育目標：たくましい子



重点目標：自ら動く

